



町議会議長
伊藤 園樹

謹賀新年

新年あけましておめでと
うございます。

輝かしい平成27年の新春
を迎え、謹んでお慶びを申
し上げます。

町民の皆さまには、平素
から当議会に対しまして、
深いご理解とご支援を賜り
厚くお礼申し上げます。

2町合併から、早いもの
で8年9ヶ月が経過し、現
在の議員任期も残すところ
あと4ヶ月となりました。
これまで、議員としての職
責を果たしてこられましたこ
とは、町民の皆さまのご
指導とご協力によるものと
感謝いたしております。残
る任期も全力で取り組んで
まいれる所存であります。

昨年、富岡製糸場と絹
産業遺産群が世界文化遺産
に登録されたことや、ノ

ベル物理学賞を3人も受賞
するなどうれしい話題があ
りました。このほかにも消
費税率が8パーセントへ引
き上げられたことや、突然
の衆議院解散・総選挙が行
われ、あわただしく過ぎた
年末となりました。

また、自然災害が多発し、
デング熱が流行の兆しを見
せるなど不安な年でもあり
ました。特に、噴火災害と
しては戦後最悪の被害と
なった御嶽山の噴火は、衝
撃的な映像とともに記憶に
残っております。亡くなら
れた方のご冥福を心よりお
祈りいたします。

さて、私ども議会は、「議
員定数・報酬の見直し」、「政
務活動費の支給」、「会派制
の導入」について、議会改
革特別委員会で検討された

結果を受け、議員定数を次
回の選挙より、現行の18人
から2人減の16人に決定し
ました。報酬は現行どおり
とし、今後は政務活動費の
支給、会派制の導入につい
て進めてまいります。

町政をとりまく環境は、
厳しさを増してきておりま
す。町長はじめ職員の方々
には、まちづくりに一層の
ご尽力をお願いするととも
に、私ども議会も住民の代
表機関として、町の意味決
定、執行に対するチェック
を行いながら、皆さまのご
意見を政策に反映できるよ
う努力してまいりますので、
本年も皆さまのより一層の
ご支援をお願い申し上げま
す。

結びに、町民皆さまの
益々のご健勝とご多幸をお
祈り申し上げます。年頭
のあいさついたします。



平成26年度定期監査の結果

地方自治法第199条第4項の規定に基づき実施した定期監査の結果について、同条第9項の規定により公表します。

平成26年10月21日から23日まで、一般会計及び特別会計並びに病院事業会計の平成26年度上期の財務に関する事務の執行状況などについて、事前に資料の提出を求め、監査執行時は担当課長に資料の説明を求めました。

その結果、総体的には適正に執行されており所期の目的どおり進捗しているものと認められました。

しかしながら、行政全般の財政状況は依然として厳しい状況下にあることを踏まえ、公平公正の観点から税金をはじめとする各種公金の滞納防止、徴収により一層努め、公有財産・遊休資産については効率的な利活用を検討することなどを要望いたしました。

平成27年1月

町監査委員 伊藤 美宣
町監査委員 野村 和好